

.dskって何？

ネットから CP/M 用のファイルを探してきて解凍してみると、

<http://star.gmob.jp/koji/data/dsk.png>

こんなふうになっていて中身を見られないものがありますよね。

diskdef の設定が分かれば CpmttoolsGUI が使えそうですが、いろいろやってみているのですがうまくいきません。このイメージ (拡張子の無いファイルと、.dsk の拡張子が付いた 1088kB のファイルのセット) は何向けのディスクイメージなのでしょうか、調べてみました。どうやら、altairz80 というシミュレータ向けのイメージのようです。

【2019.05.01】対応しました。 Altair-SIMH で CpmttoolsGUI を使う

altairz80 は、The Computer History Simulation Project というコンピュータ史上重要と思われる古いミニコンやマイコンのシミュレータを作ろうというプロジェクトの SIMH という multi-system simulator を altair 仕様にインプリメントしたもので、CP/M を動かすことができます。(PC, Mac, LINUX, Zaurus 版があります)

拡張子の無いファイルはシミュレータのバッチファイルで、起動時の設定 (CPU の選択、メモリ設定、ディスクのマウントなど) が記述されています。

ファイルの取出し方

シミュレータ上に、ファイルを入出力するツール (R.COM と W.COM) が用意されているのでこれを利用します。

例) Windows 環境で、modula2.dsk というイメージファイルから、ML.COM を取り出す。

- ・ altairz80.zip をダウンロード解凍します。
- ・ 解凍先に、modula2 と modula2.dsk を置きます。
- ・ altairz80.exe を実行します。シミュレータが起動したら、DO コマンドを実行します。

```
sim> do modula2
```

CP/M が起動し、B ドライブに modula2.dsk のイメージがマウントされます。

- ・ B ドライブへ移動し、W コマンドを実行します。

```
A>B:  
B>DIR  
B>W ML.COM B
```

ML.COM がシミュレータの実行ディレクトリに作成されます。(B はバイナリーモードの意味) ワイルドカード指定が可能で、まとめて取り出すこともできる。

<http://star.gmob.jp/koji/data/z80sim.png>

実行結果画面

もっと良い方法を知っている人はコメント下さい。

関連リンク

<http://www.schorn.ch/index.html>

<http://simh.trailing-edge.com/>

[エミュレーション、そしてコンピューティングの歴史](#)

<http://roguelife.org/~fujita/COOKIES/SIMH/>

[CP/KM web の紹介](#)

当サイト内

[AVR と Z80 で CP / M](#)

[CP / M ディスクイメージ作成手順メモ](#)

[CpmtoolsGUI](#)
